

**第 16 期第 3 四半期業績のご報告**  
 (平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

平成 24 年 6 月 吉日  
 日本システムバンク株式会社  
 代表取締役社長 野坂 信嘉

当第3四半期における我が国経済は、東日本大震災の復興需要や円高の小康状態など、明るい兆しが見られるものの、欧州債務危機や電力供給に関する不安など、先行きが不透明な状況が続いております。

そのような状況のなか、当社は時間貸し駐車場の競合他社との差別化と高付加価値化を図りました。具体的には、電子マネー対応駐車場の開設と電気自動車・プラグインハイブリッド車用の充電スタンドの積極的な設置・販促活動を実施して参りました。

その結果、CPシステム運営事業においては、専任担当による直営駐車場の収益改善策を継続的に実施、また収益力の高い駐車場を厳選して開設を行う事により、売上高 624,823 千円(前期比 109%)と伸長致しました。

CPシステム販売管理事業においては、コンサルティング営業の更なる推進とメンテナンス、コールセンターでの顧客対応能力の向上に努め、売上高 457,517 千円(前期比 99%)となりました。

プロパティマネジメント事業は、全国の物件を集中管理する事により、維持管理の効率化と満室経営を努め、71,643 千円(108%)と伸長致しました。

また分譲マンション事業においては、販売スキルの高い社員を増員し、顧客対応能力の向上に努め、売上高 264,753 千円(前期比 154%)と大きく伸長致しました。

その結果、当四半期に於ける売上高は 1,419,863 千円(前期比 111%)と伸長致しました。

セグメント別の業績は以下の通りであります。

事業区別	金額	前年比
CPシステム運営事業	624,823 千円	109%
CPシステム販売管理事業	457,517 千円	116%
プロパティマネジメント事業	71,643 千円	101%
分譲マンション事業	264,753 千円	39%
その他	1,128 千円	9%